

2018年7月 石炭系ピッチ及び黒鉛電極市場状況

石炭系ピッチ

市場取引は通常並みで、価格全体は安定している。

原料コールタールの市場が安定しているため、石炭系ピッチの価格にも影響が小さい。

現在、黒鉛電極と負極材料の市場での需給は通常レベルで、石炭系ピッチの購入量も需要次第となっている。下流市場では、石炭系ピッチの価格への問い合わせが多いが、価格は抑えられぎみである。

さらには環境政策の影響からの市場の制約もあって、全体として低位で安定した価格となっている。含浸用ピッチの市場参考価格は4,300-5,300 元/トンで、被覆用ピッチは1.7 万元/トンとなる。

下流市場（黒鉛電極）

7月第二週、中国国内黒鉛電極の市場価格は安定していて、UHP450mm 規格は7-7.5 万元/トンで、UHP600mm 規格は10.5-12.5 万元/トンで、UHP700 規格は14-16 万元/トンとなっている。6月の環境保護政策の影響により河南、河北省一部地域の黒鉛電極メーカーの生産に影響が生じた。ICC 情報によると、6月、全国18の主要な黒鉛電極メーカーの生産量は合計4.79万トンで、前年同月比4.58%減であった。

最近UHP450-500mm 規格の黒鉛電極の需要量が大きく、メーカー在庫はやや少ないレベルである。原料価格の若干の値上がりで、黒鉛電極の価格は下支えされている。

業界関係者の考えでは、新たな、或いは生産が回復した黒鉛電極は原料コストが掛かるものの、現状で多めのマージンが取れているので、今後ゆるやかに価格が下がっていくものと見ている。

(出典：ICC)